



# 平成最後の入学式

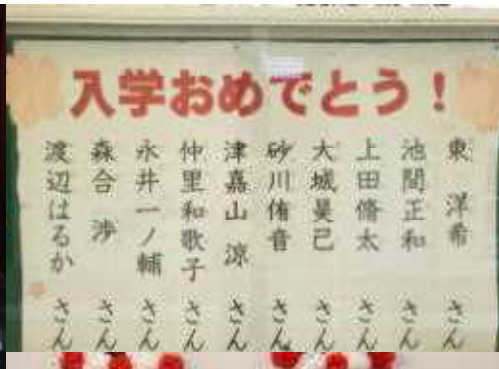
沃野よく  
野や



4月8日(月)午後2時より、「希望に満ちた笑顔とともに、切り拓け明日を！進め！前へ！」のテーマのもと、平成31年(令和元年)度の入学式を行いました。平成最後の入学式となりました。竹富町教育委員会大浜讓 教育課長をはじめ、多数のご来賓、地域の皆様、保護者の皆様が見守る中、今年度は、昨年の倍の10名の新入生が入学して参りました。学校式辞では、学校教育目標である(知)(徳)(体)に関わる3つの目標に向かって努力すること、「15の春」の「島立ち」に向けて、職員が全力で指導支援にあたることをお話しました。その後、大浜讓竹富町教育委員会教育課長、村田行上原地区連合公民館長、大山浩史船浦中PTA会長からそれぞれご祝辞を賜りました。また、大山史帆里生徒会長が歓迎の言葉、池間正和さんが新入生決意の言葉を述べました。新入生保護者代表あいさつとして渡辺信さんからご挨拶をいただきました。「平成」から「令和」へ時代が変わる節目の年にふさわしい入学式になりました。参列された皆様方の新入生への温かな思いを励みに、これから始まる中学校生活を精一杯頑張ってくれることと思います。今後とも船中生徒たちへのご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

竹富町立  
船浦中学校  
学校便り  
第2号

発行責任者  
校長  
仲田欣五





# 平成31年(令和元年)度始業式

4月8日(月)、平成31年度そして令和元年度の始業式を行いました。7名の新しい先生方をお迎えし、2、3年生10名は気持ちも新たに新学期のスタートを切りました。始業式で新年度の決意を述べた3名の生徒の言葉を紹介します。



2年代表 小野蒼生

これから2年生の目標を発表します。3学期の修了式の時、自分の意見をもてなかつたという反省があったので、まずそこを直していきたいと思っています。後輩もできるので、いいお手本となるようにしていくためにも自分の意見をもてるようにしたいです。また、今年は去年やった行事とは違って、体育祭やテドウ山登山などの行事もあるので、先生や教えてくださる地域の方の話も聴きながら皆で協力していきたいです。今年は後輩の一年生を引っ張って先輩の3年生を助けることができるようになりたいと思います。



3年代表 村田海渡行

これから3年生の目標を発表します。僕たち3年生は今までの2年生という中間の学年から3年生という最上級生になりました。今までとは違い、これからは最上級生として後輩をしっかりとリードしていかなくてはなりません。そのためには、日頃の授業態度や委員会活動、言葉遣いなどに意識を持つことが大切です。

僕たち3年生は、2年生の頃から反省点として上がっていた手帳の活用の仕方や生活リズムの調整について改善していかなくてはなりません。特に生活リズムの調整については、春休みということもあり、多少怠けているところもあるかも知れませんが、崩れた生活リズムを整えるためにも、手帳を計画的に活用することはとても大切です。

また、進路選択の時期にもなるので、自分の進む道をじっくり考える一年にしくはありません。受検に向けては、クラスで教え合うことが大切になってきます。「自分が分かるからいいや」ではなく、周りにも教えることでより学ぶことにつながっていくと思います。受検は個人戦ではなく、団体戦という意識を持って学習に取り組んでいきたいです。

もうすぐで新1年生が入学してきます。新1年生は先輩をお手本として見ます。そのため、3年生だけでなく、2年生も自分の行動を客観的に見つめ成長できるように皆で頑張っていきたいと思います！

生徒会代表 末吉英星



今年は、新しく10名の1年生が入ってくるので、生徒会執行部の4人で頑張っていきたいです。去年の反省点は、生徒会執行部4人で話し合う時に意見を言えなかつたというのがありました。自分で自分の意見を進んで言うようにしたいから、積極的に話し合いに参加し、一人一人が自分の意見を持ち自分たちで話し合いができるようにしていきたいです。また、去年にはない体育祭やテドウ山登山などの行事を生徒会執行部が引っ張っていききたいです。4人ですが、今年度も頑張っていきたいと思います。最後に去年の生徒会が船浦中を盛り上げてくれていたので、それを引き継いで、僕たちがもっと盛り上げられるように頑張っていきます。



## 船浦中をよりよい学校にするために

平成31年度のスタートにあたり、4月5日(金)の新任式後に、生徒会長の大山史帆里さん、副会長の末吉英星さん、書記の川満夕さん、会計の大城空也さんの4人に校長室に来てもらい、「船浦中学校をよりよい学校にするために」というテーマで意見交換をしました。船浦中学校の「良さ」は、皆明るく仲よしで団結力がある、協力してたくさんの方の行事などを成し遂げられる、一人一人が考えて行動できるなどを挙げていました。

「改善すべきところ」としては、あいさつ、先輩後輩のけじめ、時間的に少しマイペースなどを挙げていました。「どんな学校にしたいか」では、縦の関係も横の関係もしっかりし、地域の方々とも関わりが深い学校、何事においても皆で協力して一生懸命取り組める学校にしたいとのことでした。そのために、私たち生徒会執行部が積極的に動いてみんなをまとめ、先生方ともコミュニケーションを取りながら一緒になってよりよい船浦中にしていきたいという提案もありました。それらの言葉を聞いて、大変うれしく感じるとともに、さすがが船浦中学校生徒会のリーダーだと頼もしく思いました。先生方と生徒が、ともに手を携え、素晴らしい船浦中学校を創って参ります。ご支援並びにご協力よろしくお願いたします。



生徒会長の大山史帆里さんとの握手

「改善すべきところ」としては、あいさつ、先輩後輩のけじめ、時間的に少しマイペースなどを挙げていました。「どんな学校にしたいか」では、縦の関係も横の関係もしっかりし、地域の方々とも関わりが深い学校、何事においても皆で協力して一生懸命取り組める学校にしたいとのことでした。そのために、私たち生徒会執行部が積極的に動いてみんなをまとめ、先生方ともコミュニケーションを取りながら一緒になってよりよい船浦中にしていきたいという提案もありました。それらの言葉を聞いて、大変うれしく感じるとともに、さすがが船浦中学校生徒会のリーダーだと頼もしく思いました。先生方と生徒が、ともに手を携え、素晴らしい船浦中学校を創って参ります。ご支援並びにご協力よろしくお願いたします。